

海外留学報告書

(様式 4)

交換留学及び語学研修に参加する皆さんは、帰国後に海外留学報告書を提出することになっています。つきましては、下記の様式を使用して、帰国後 1 ヶ月以内に提出してください。福山大学海外留学奨学金の授与に関しても、同報告書を提出することが必須条件です(奨学金の授与の詳細・日程については、帰国後に改めて連絡します)。なお、オンライン留学は奨学金の対象になりません。

※ 提出先：学務部国際交流課 int@fukuyama-u.ac.jp

※ 後輩学生のために、留學生活の様子分かる写真・動画を出来るだけ多くご提供ください。

※ 提出した報告書内容及び写真・動画は、ホームページ・学報・大学要覧などの広報媒体に掲載されることがあります。掲載を希望しない場合は、本様式の欄外にその旨を記載する方法で申し出てください。

氏名	木戸 崇博	留学先大学	University of California, Riverside
学部・学科	経済 ・ 経済	留学の種類	○語学・交換・その他（オンライン）
学生番号	4118055	留学期間	2021 年 6 月 28 日～2021 年 9 月 20 日
1. 留学前			
留学の 動機・目標	<p>私がこの留学に取り組もうと考えた理由は自身の英語力の向上です。大学中の目標の 1 つとして英語力の向上に努めてきました。2 年次に UCR へ 1 カ月の語学留学に参加し、3 年次にも他大学との合同で 2 週間のオンラインプログラムにも参加しました。TOEIC スコアを 400 点台から 755 点にまで伸ばすことができ、今後も英語を自分の強みとしたいと思い参加しました。</p>		
2. 留学中			
授業内容	<p>今回のオンライン英語学習は合計 12 週間で、基本的には自主学習という形式のものでした。毎週月曜日にその週の授業内容や課題をまとめて公開し、期日までに取り組むことで学習を進めます。分からない点や何か連絡事項があれば担任の先生にメールで連絡したり、毎週月曜日に行われる Zoom ミーティングで相談したりすることができました。</p> <p>また、授業の内容としては TED talk の内容を題材にしており、ドローン技術や寄附をすることについて、20 代の過ごし方の重要性など、非常に多岐にわたっており、自分の将来にも役立つような興味深いものでした。</p> <p>加えて、4 週間ごとにエッセイを書いたりプレゼンテーションを行ったりしました。内容としては、自分のおススメの本や手術用ロボットについて、自分の中で最も大きな成功についてなどでした。</p>		
ホームステイ や寮での生活	オンラインだったため、ありません。		
週末の 過ごし方	課題が残っている場合は課題に取り組み、済んでいれば授業とは別の英語学習を行ったり、資格勉強に取り組んだりしました。		

経費 (渡航費、 月額生活費、 受給奨学金額、 旅行費等)	未来創造奨学金プログラムのため、授業料は、カリフォルニア大学リバーサイド校と福山大学が支払ってくれました。(自己負担なし) オンライン研修だったため、渡航費や滞在費等は発生していません。
留学中の 記憶に残る エピソード	月曜日に行われる Zoom ミーティング中に、「自分の考える効果的な学習方法を 3 つ紹介」という内容で約 1 分半のショートプレゼンを 2 人 1 組で行うことができました。 それは事前に知らされたものではなく、聞いてすぐは非常に焦りました。ただ、10 分の準備時間を与えられ、その間にプレゼン内容や展開についてペアの人と話し合うことができました。 しっかりと意見を言い合うことができるか不安はありましたが、想像以上に自分が話すことができ、10 分以内に 3 つの方法とその理由、プレゼン中の役割分担についても話し合うことができました。 プレゼンを無事に終え、自分の英語での会話や表現力が向上していることを実感することができました。
3. 留学後	
留学目標の 達成度 どのような点 で成長したと 感じるか	留学前に掲げていた「英語力の向上」は達成することができたように思います。特に、4 技能のうち、Speaking と Writing が向上させることができたと感じています。 そう感じる理由として、12 週間のプログラム中に、トピックに対して自分の意見や考えを表現する課題に毎日取り組んだり、エッセイを書いたりすることで、自分の意見を述べる時の表現方法や論理的な書き方、適切な英単語の語彙などを学ぶことができたからです。 実際に、プログラム終了後に受験した英検準 1 級の 1 次試験は順調に回答することができ、特に英作文の問題の時に、プログラム以前よりもスムーズに書くことができました。
今後の目標 (短期留学の 場合、中長期 交換留学への 参加希望があ れば記載)	資格としては、英検準 1 級の取得、TOEIC800 点以上、TOEFL または IELTS に挑戦などです。 自分の将来の展望としては、英語を日常的に使い自分の専門性を発揮できる会社で働くことや内定先の企業の海外駐在員として働けないか考えています。
来年度以降の 参加者への メッセージ	大学生活を通じて英語学習に取り組むことで、たくさんの貴重な経験や良い結果を得ることができました。 私が英語学習に取り組もうと考えたのは、「経済学部生なのだから、経済などが分かるのは当たり前。専攻している経済学以外にも自分の武器が欲しい」と思ったからです。将来、社会人になった時や就活中にアピールできることとして非常に価値のあるものだ判断し英語学習に取り組むことを決めました。 就活本番では、資格欄に TOEIC スコアを書くことができたり、自己 PR の話の 1 つとしてアピールしたりできました。最終的に、満足のいく内定を獲得することができました。 2021 年現在はコロナ禍のため課題活動や海外留学などが一部制限され、挑戦

	<p>できることが限られていますが、コロナ禍の中でも自分のやりたいことや挑戦したいことに真摯に取り組むことで自分の将来にとって価値のある経験をすることができると思います。</p>
--	---

- * 文字数に上限はありません。枠をはみ出してしまう場合には、枠を適宜広げてお書き下さい。
(Word 版：国際交流課ホームページからダウンロード可)
- * 報告書に記載された情報は、海外語学研修・交換留学プログラムの運営、その他、海外留学や語学研修の運営に利用します。